

取扱いの趣旨

心不全の病態であると判断することができない心房細動や高血圧症のみの傷病名に対する算定は、原則として認められない。

支払基金が公表している取扱いの全文

【検査】

《令和6年9月30日》

285 心房細動等に対するNT-proBNPの算定について

○ 取扱い

次の傷病名に対するD008「20」脳性Na利尿ペプチド前駆体N端フラグメント（NT-proBNP）の算定は、原則として認められない。

- (1) 心房細動
- (2) 高血圧症

○ 取扱いを作成した根拠等

脳性Na利尿ペプチド前駆体N端フラグメント（NT-proBNP）は、心不全の診断又は病態把握に有用なマーカーであり、厚生労働省通知※に「心不全の診断又は病態把握のために実施した場合に月1回に限り算定する。」と示されている。

心房細動や高血圧症のみの傷病名では、心不全の病態であると判断することはできない。

以上のことから、心房細動、高血圧症に対する当該検査の算定は、原則として認められないと判断した。

（※）診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について

グラフの見方

1 棒グラフ（該当レセプトの審査結果）

当該事例の取扱いの対象となる診療行為（医薬品、特定器材）を算定している目視対象レセプト
1万件当たり、取扱いの趣旨に該当するレセプト件数

2 折れ線グラフ

取扱いの趣旨に該当するレセプトのうち、
査定・返戻となった割合

【棒グラフ凡例】 審査の結果

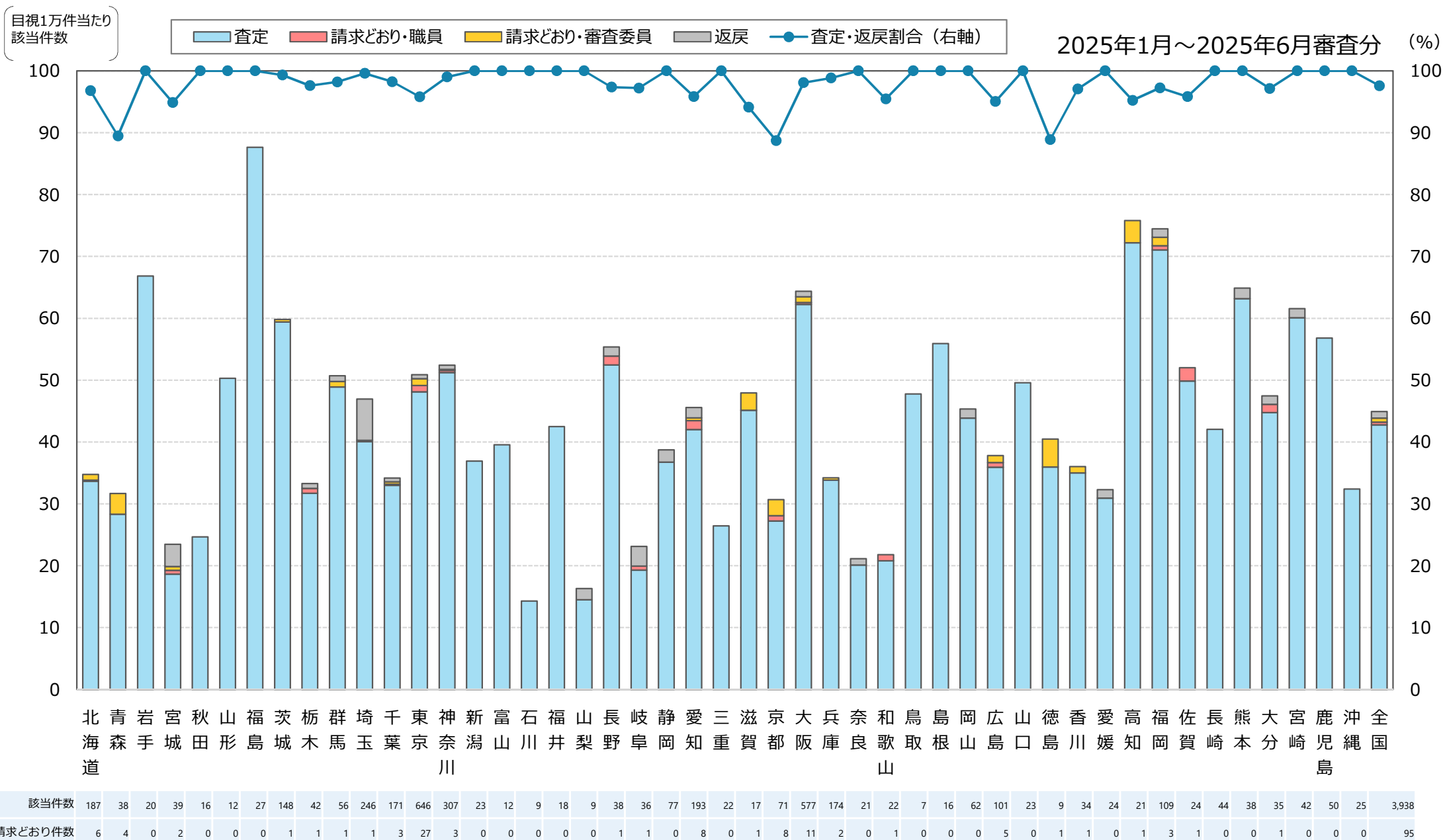
査定	返戻	: 取扱いどおり
請求どおり 職員等	請求どおり 審査委員	: 検証が必要

審査結果の概要

- 全国の査定・返戻割合 97.59%
- 検証対象都道府県 3

検証観点	都道府県	備考
査定・返戻割合が低い	京都、徳島、青森	査定・返戻割合の低い順
請求どおり・職員	京都	対象1万件当たり件数の多い順
請求どおり・審査委員	徳島、青森、京都	//

該当件数（全国）	【条件】	3,938件
取扱いに基づく審査	査定・返戻の計	3,843件
検証を必要とする審査	請求どおり	95件



【該当件数】取扱いの趣旨に該当したレセプト件数